

第25期（2023年度）事業計画案

災害支援関連では、ようやくコロナ禍が落ち着きを取り戻しつつある状況なので、これまで支援に関わってきた被災地、例えば、東日本大震災の被災地である岩手県野田村や福島県郡山市をはじめ、丹波市水害の被災地や西日本豪雨災害の被災地である岡山県倉敷市などに、可能な範囲で訪問していきたいと思っている。また、地元西宮の県外避難者を対象に実施しているKSN（関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体）による交流行事も継続予定で、今後南海トラフ巨大地震など新たに大規模な災害が発生した場合は、大阪大学や関係団体とも連携し、救援活動を行いたいと考えている。

平常時の活動については、これまで同様①防災まちづくり活動、②講座・講演活動、③ネットワーク活動の3本柱を中心とし展開していく。特に、今年度は財源確保の観点からもNVNAD役員&事務局が中心となって、自治会や地元団体の構成員を対象に、地区防災計画作成を視野に入れた「まちごと防災セミナー」の開催や、乳幼児向けの防災アニメ「ももたろう」を活用した、幼稚園や保育所、あるいは子育て支援グループを対象とした親子防災講座の実施や、熊本地震以降関心が高くなっている「車中泊避難」をテーマにした講座なども企画していきたいと思っている。

その他、2025年1月17日に阪神・淡路大震災から30年を迎えるにあたり、今年度から団体のPRを兼ねて「あれから30年 NVNAD 2025プロジェクト」と題した7回シリーズのシンポジウムを開催していく予定である。また、チャリティカレンダー市については、会場確保の問題などを考慮し開催の有無について検討中であり、また、昨年11月に大阪梅田の地下街で実施した「防災パーク@そねちか」の開催を検討するとともに、大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センターの「災害ボランティアラボ」とも連携して、吹田市のエキスポシティで開催予定の「大阪大学共創DAY」などの事業にも関わりたいと考えている。

I. 災害救援の活動

1. 救援活動

（1）東日本大震災の支援活動

①被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市、など）

②西宮市内での避難者支援活動（KSNプロジェクト）

③野田村ファンクラブ

（2）兵庫県佐用町・丹波市水害の支援活動

（3）熊本地震・九州北部豪雨災害・令和2年7月豪雨災害の支援活動

（4）西日本豪雨災害、台風19号豪雨災害の支援活動

（5）トルコ・シリア地震の支援活動

（6）ココロープの支援活動

II. 次の災害に備えるための防災(広報・啓発等)の活動

1. 地域防災活動

（1）子ども支援事業（子ども防災クラブ、親子防災講座など）

（2）防災啓発事業

2. 防災意識高揚のための取り込み

- (1) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業
- (2) 講演等の受託事業

3. ネットワークの拡充

- (1) 全国災害救援ネットワーク（Jネット）総会
- (2) ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）
- (3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議（兵庫県）
- (4) チャリティカレンダー市

4. 新規事業の企画

- (1) あれから30年シンポジウムの企画
- (2) 乳幼児向けの防災アニメ啓発事業の企画
- (3) 車中泊避難講座の企画
- (4) 防災グッズの啓発事業（阪大や企業との連携）
- (5) 大阪マラソン事業（ウォーキング事業）

III. 今年度末の災害救援準備金残高 1,000千円

（災害救援準備金の取り扱い細則）

国内外で災害が発生し、緊急出動のための費用は、理事の承認を受け引当貯金を取崩し、次回総会で報告の上、承認を受けることとする。（近畿労働金庫50万円を含む）

※NVNAD の50万円について、使用後は年度初めに戻さず0円になれば終了とする。